令和９年度予算編成における留意点

令和９年度　予算５原則
ア　**必要性**（要望・対話に基づく必要性の確認）
イ　**寛容性**（寛容性の向上を通じた人口減少の抑制）
ウ　経済効果（政策の波及効果及び町内資金循環）
エ　財源（事業の実施を支える財源の確保）
オ　**担い手の確保・関係人口の拡大**

カ　**広報**（事業執行時も「つながるくん」等を活用）

2026年１１月４日

山形県西川町

人員確保へ

メモ（書き留める）

あいさつ

節電・紙節約



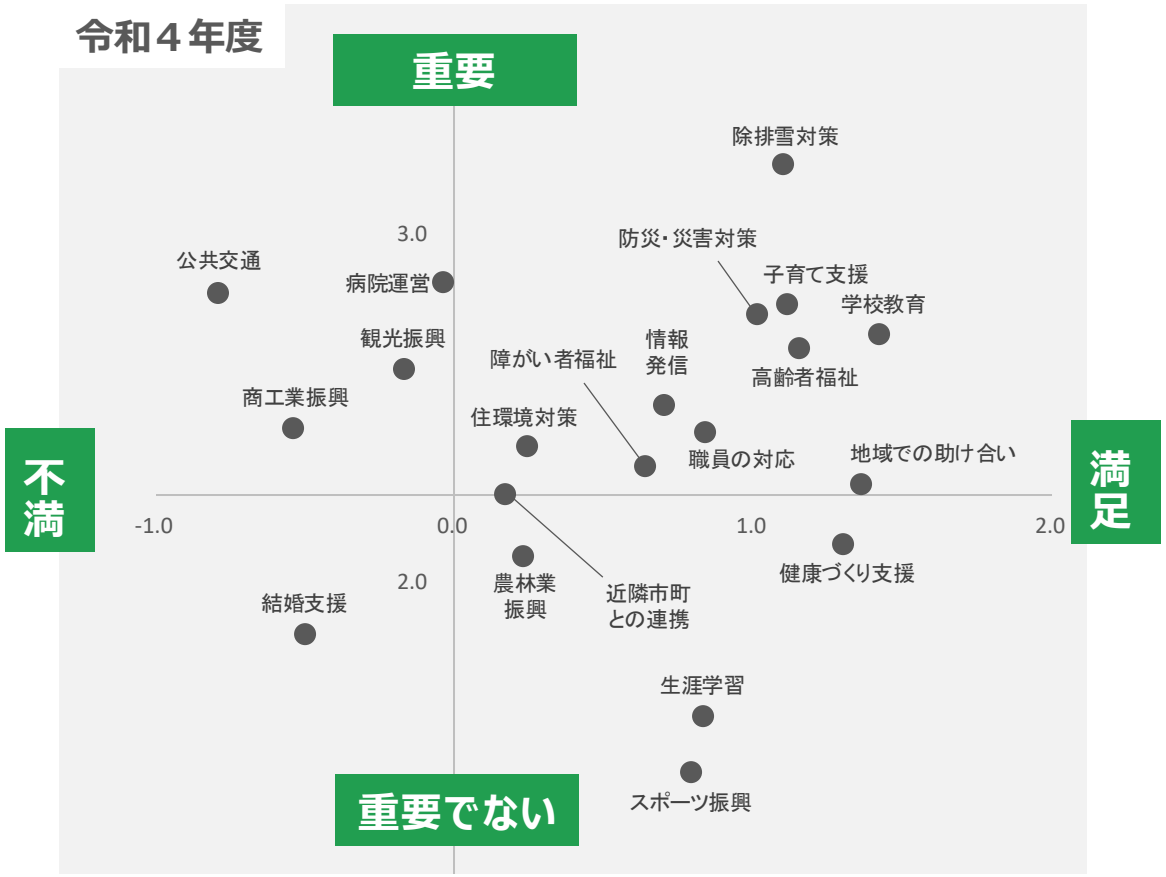


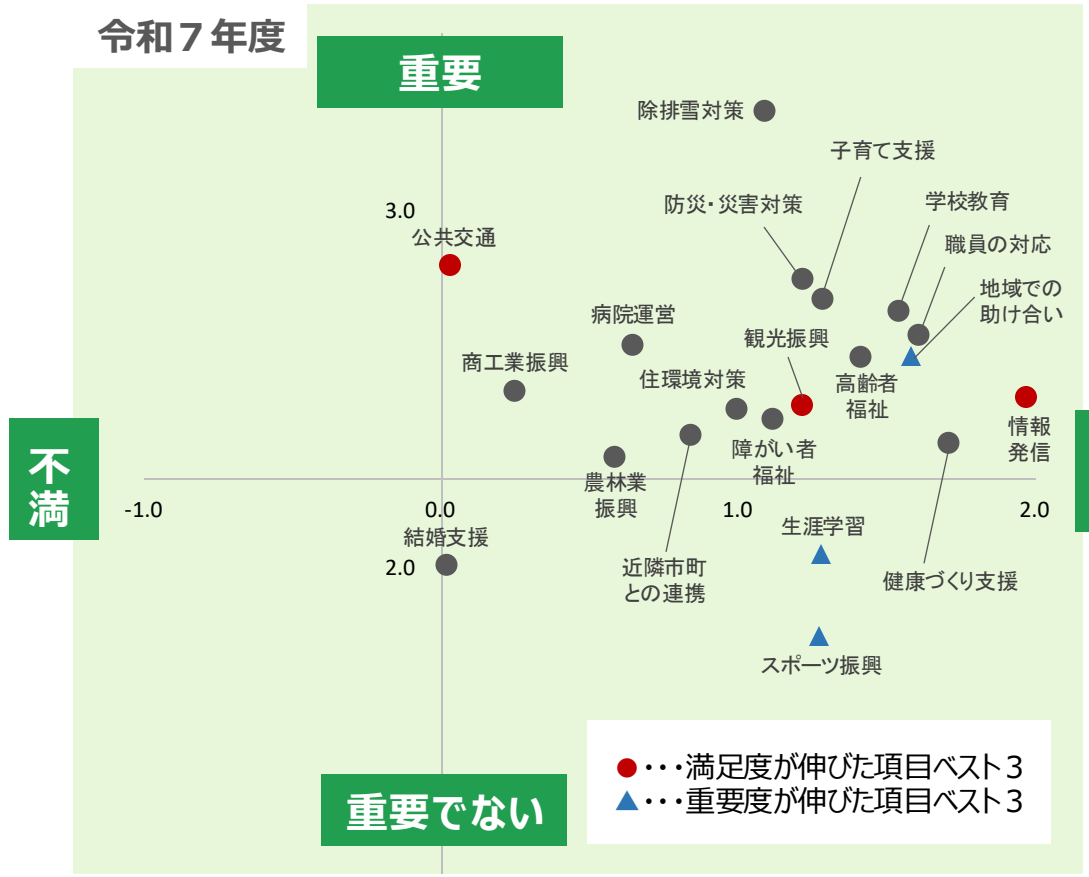


１．西川町の現状　町民アンケートの結果（ニーズの把握）

前回調査と比較すると、全体的に点の位置が右に移動して、満足度が高くなっています。**最も満足度が高かったのは「情報発信」**でした。
また、「除排雪対策」や「公共交通」など、日々の暮らしに関わる分野は引き続き関心が高くなっています。

■施策に対する満足度と重要度の分布図





３．課題解決までに時間がかかる行政の道（現場主義）

このように、「集水桝」をつくる事業は、課題を教えて頂いたのは昨夏であり、完成予定は今夏です。スピード解決したつもりですが、それでも1年経過いたしました。

「集水桝」完成までは、以下のような調査・手続きが必要になります。

❶対話会、日常の業務で課題を把握する（課題の優先順位も比較する）
❷担当課は、現地を確認し、解決策を練っていく
❸課題解決の工法（補助事業は補助要綱づくり、委託事業は仕様書づくり）を検討する
❹財源確保のための各省庁・県への要望活動、実施に向けた公平性、将来負担の調査
❺企画財政課に提出し、財政協議を行う。その後、町長査定
❻原則、（3カ月に1度開催される）定例議会に予算案を提出
❼可決頂いた事業を予算化し、入札など適切な事務を行い実行



◀課題を把握し現場確認（原）



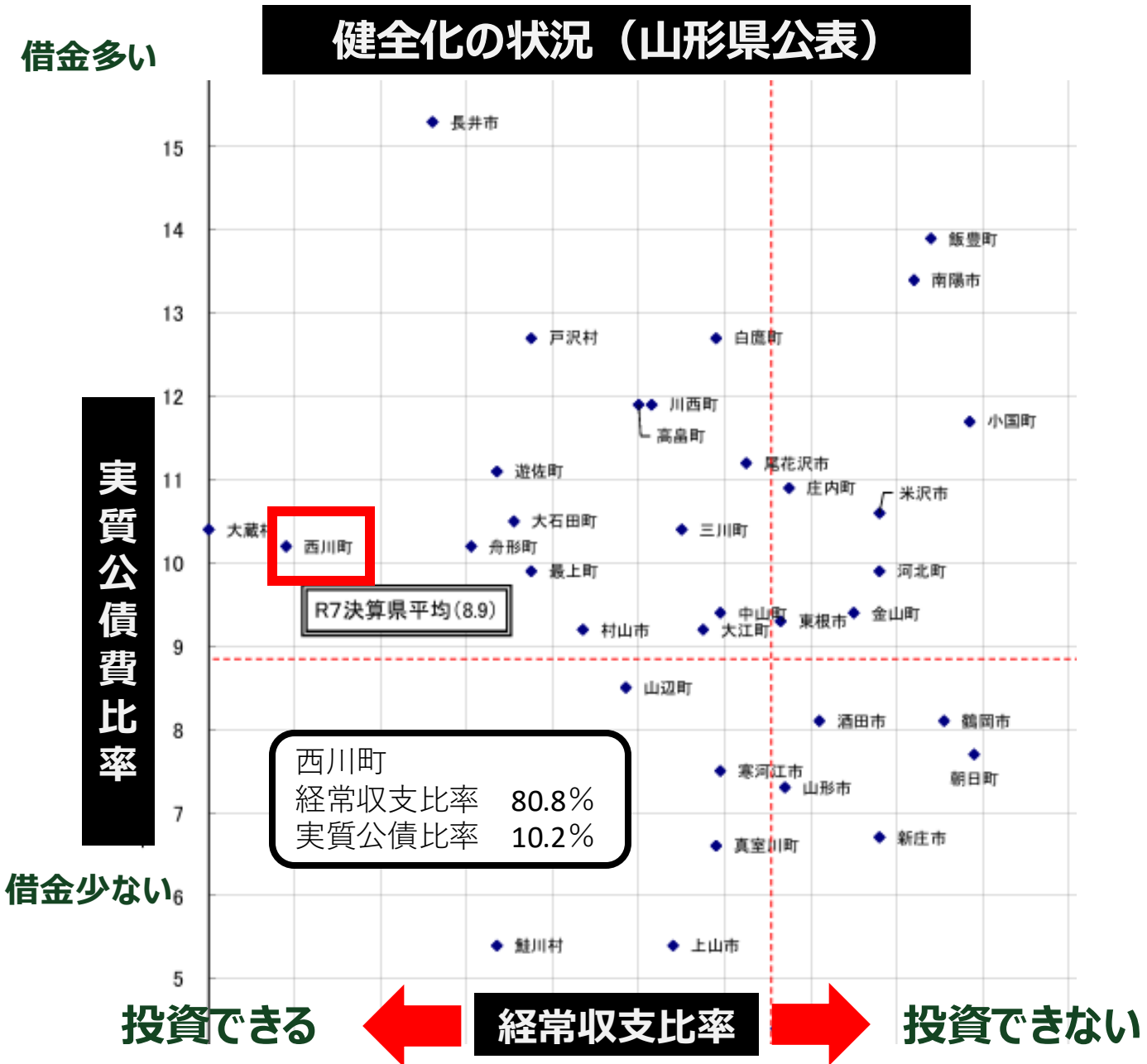
現場で、大活躍の建設水道課　宮林課長

財源確保は私も頑張ります🔥
高市総理・林大臣へ
・お助け隊
・啓翁桜
・テレビ共聴アンテナ



４．西川町は「県内トップクラスの財政」の下、未来に投資できる状況

健全化の状況（山形県公表）



町の基金（貯金）の状況

基金区分	基金残高
財政調整基金	12億9,007万円
減債基金	9億5,377万円
地域福祉基金	4,192万円
町有施設整備基金	1億8,981万円
丸山薫記念基金	128万円
ふるさとづくり基金	9億514万円
賃貸集合住宅維持管理基金	901万円
小水力発電維持管理基金	535万円
森林環境譲与税基金(新)	3,554万円
企業版ふるさと納税寄付金基金	4,617万円
高齢者支援等かせぐ基金	2,417万円
帰ってきてけローン返済補助基金	518万円
まちづくりクラウドファンディング活用支援基金	1,000万円
公務災害補償基金	181万円
土地開発基金	1億2,847万円
育英奨学基金	7,137万円
国民健康保険給付基金	1億5,274万円
介護給付費準備基金	8,643万円
合　　計	39億5,823万円

1 稼ぐ力を高める ～雇用と経済を守る～

■ 地域企業を徹底的に支える

- 町内事業者・地域商社への支援強化 ― ■Ｒ８　実施　総合開発黒字化・雇用拡大
- 雇用拡大に挑戦する企業への補助制度拡充 ― ■Ｒ８　実施　事業者支援、物価高騰商品券（99%使用）
- 農業の担い手確保・法人化・大規模化支援 ― ■Ｒ９　予定　農業の協力隊、農機リース組合ニーズ調査
- 建設業の工期柔軟化支援・新築／リフォーム助成の拡充 ― ■Ｒ８　継続　建設業者への支援・25年マイホーム
  ■Ｒ８　実施　大工さんへの支援・リフォーム補助の拡大

【リフォーム補助】Ｒ７/24件➡ Ｒ８/33件

POINT
「町内で仕事が回る仕組み」をつくります！

総合開発採用
■Ｒ６　３名
■Ｒ７　４名
■Ｒ８　６名





■ 新たな雇用を生み出す企業誘致

- 四谷川・水沢川・綱取川など小水力発電の推進 ― ■Ｒ８　四谷川完成、水沢川建設中
- データセンター関連などの企業の誘致 ― ■Ｒ８　調査中

POINT
再エネとデジタル産業で安定雇用を創出！



■ 観光の再強化

- 夏まつり・花火大会の継続 ― ■Ｒ８　継続　稼ぐと交付金獲得
- 精神文化・伝統文化・レジャーを活かした観光振興 ― ■Ｒ８　実施・継続　ワカサギ釣・看板
- ガイド育成制度の創設、体験型観光への支援強化 ― ■Ｒ９　予定　ビジターセンター建設

POINT
「通過される町」から「滞在する町」へ！



2 美しい町を、美しいまま残す

■ 本腰を入れた農林業振興

- ▲各地区の町有林貸付料の半減
- ・林道拡幅への強力な支援制度創設（95%町負担）
- ・米生産性向上のための新たな支援制度

POINT 森林を守り、次世代に引き継ぐ！





■Ｒ８　予定　町有林野貸付料半減
大井沢区：4.3万円➡2.1万円

■Ｒ８　実施　林道拡幅支援　　1,000万円　入間区

■Ｒ８　実施　水稲生産体制強化
支援　1,000万円

■ 空き家対策の本格始動

町の空き家は202戸と増えています（令和7年度調査結果）

- ▲空き家対策室の設置
- ・町独自の改修・解体支援制度

POINT 放置ではなく「活用」へ！



■Ｒ９　予定　国の制度勉強中！

■Ｒ８　実施　解体支援　一般/50万円、特定 / 100万円

■ 高齢者の暮らしを守る

町は65歳以上の高齢者のみ世帯は730戸（全世帯の4割）**です**

- ・町立病院を残す
- ・デマンド交通の充実（午後便を増やす）
- ・買い物支援の強化

POINT 「住み続けられる町」を守ります！



■必ず存続　　医師確保が課題

■Ｒ８　継続　運転手確保へ予算増

■Ｒ８　実施　のってあべプラス

3 子どもたちへの投資は、未来への投資





■ 教育環境の充実

- 中学校部活動（地域移行）支援の拡充 ― ■ R８　実施　部活動地域移行への支援
- 町立の学習塾をつくります ― ■ R９　予定　（参考）大石田町「希望塾」
- 台湾への留学支援 ― ■ R８　実施
- 小学校体育館・あいべ体育館へのエアコン設置 ― ■ R８　実施　小学校体育館
  R９　予定　あいべ体育館



POINT **家庭環境に左右されない教育を！**

■ 子育て支援の強化

- 保育園での英語教育の導入 ― ■ R９　予定　教育を移住政策に
- 子育て世代向け公園をつくります ― ■ R９　予定　小学校敷地内

POINT **「子育てするならこの町」と言われる町へ！**

■ 高校生・大学生のUターン・定住支援

- 高校生の就学支援金の支援継続 ― ■ R８年　継続　通学10万円
- 帰ってきてけローンの継続 ― ■ R８年　継続　４年間
  ３０人利用



POINT **若い力を稼ぐ力に！**

１　稼ぐ力を高める　～雇用と経済を守る！地域企業を徹底的に支える～

（１）町内事業者の徹底支援　**（にしかわ敬経済創生会議、地域未来推進協議会で議論し、交付金活用）**

か	●町内事業者、地域商社への支援強化	【継続】地域商社・総合開発の雇用拡大
か	●雇用拡大に挑戦する企業補助制度拡充	【新規】事業者支援、地域ポイント（NTT等）
みつか	●農業の担い手確保	【新規】農業担い手協力隊募集、SIB投資、直売所解散への準備
か	●農業の法人化・大規模化支援	【新規】農農機リース組合ニーズ調査
建	●建設業への支援	【継続】DX、債務負担　【新規】道路予算アップ（緊自債）
建	●大工さんの支援（新築・リホーム助成）	【継続】改修の支援強化【新規】新築支援200➡500万円
か	○ネーミングライツ・かせぐNFT発行	【新規】水沢♨　・海味♨・あいべネーミングライツ、NFT２回
総み	○本庁舎の西山杉木室化・西山杉椅子	【新規】庁舎１・２階を木質化（西山杉を見れる施設）

（２）新たな雇用・財源の確保に向けた企業誘致

み建	●四谷川・水沢川・綱取川小水力発電の推進	【継続】Ｒ８四谷川完成、Ｒ１０水沢川完成
か	●データセンター関連などの企業の誘致	【新規】継続調査（調査に必要な予算があれば計上）

（３）観光の再強化（以下、地域未来交付金活用）

観	●夏まつり・花火大会の継続	【継続】温ガ・花火・STS・和牛４大イベント、月山トイレ２つ
観	●精神文化・伝統文化・レジャー観光振興	【新規】ビジターセンター建設、ワカサギ釣・BTV広報看板
観	●ガイド育成制度創設、体験型観光の強化	【新規】山頂トイレ、冬の観光、月山登山道・六十里整備
観か	○サウナ強化、ロッククライミング	【新規】薬師の外気浴導入、クライミングは調査
ま	○町民スキー場のイベント実施	【新規】冬の利用客増加

２美しい町を、美しいまま残す

（１）本腰を入れた農林業振興

み	●各地区の町有林貸付料の半減	【継続】町有林野貸付料半減
み	●林道拡幅の支援制度（95% 町負担）	【地域】林道拡幅支援（希望区×1,000万円）R8 入間区
み	●米生産性向上のための新たな支援制度	【継続】水稲生産体制強化（1,000万円支援）
みか	○山菜・きのこ生産維持と持続的な販売体制	【新規】直売会解散に向けた受入体制づくり（なめこ維持）
みか	○工人組合（FABEL月山）への支援	【新規】地域未来交付金で対応？
み	○個体数減少へジビエ処理施設の検討	【新規】事業者提案の検証、地域未来交付金

（２）住環境対策の維持

総	●空き家対策室・活用室の設置	【新規】令和９年度　新設
総	●町独自の改修・解体支援制度	【継続】解体支援強化を検討（５０万円➡１００万円）
つ建	○空き家の購入・改修・おためし暮らし住宅	【新規】１先（特別交付税が新設）
町健	○空き家の未然防止対策としての民事信託	【新規】R9は地域活性化企業人・副業型で対応

（３）高齢者の暮らしを守る（高齢者のみ世帯の4割）

病秘	●町立病院を残す	【新規】50周年事業、明るい病院改修　【継続】Mass
町	●デマンド交通の充実（午後便を増やす）	【継続】運転手確保へ予算増（人件費高騰分加味）
町健	●買い物支援の強化	【継続】「のってあべプラス」、セブンイレブンの買い物支援
総	○つながるくん活用防災訓練	【新規】必要な予算経費
総	○避難所棟開設に向けた設備拡充・防災予算	【新規】WOTA、災害支援物資協力予算
健	○海味温泉の耐震・ヒカリ拡充・ケアハイツ	【新規】ケアハイツ改修は要望を反映。
健	○ミニデイ・サロン継続と補聴器、歩行確認	【新規】歩行状態の確認システム、補聴器購入の支援

４　子どもたちへの投資＝「未来への投資」

（１）教育環境の充実

ま	●中学校部活動（地域移行）支援の拡充	【継続】Ｒ８実施、支援と公平性を踏まえた体制　４月実施
まか	●町立の学習塾をつくります	【新規】Ｒ９　６月実施（参考）大石田町「希望塾」
まチ	●台湾への留学支援	【継続】留学支援　【新規】台湾交流チーム創設＝町民スキー場
ま	●小学校・あいべ体育館へのエアコン設置	【新規】あいべ体育館
秘ま	○小学校・中学校の統合計画の策定	【新規】

（２）子育て支援の強化

健石	●保育園での英語教育の導入	【新規】英語教育導入（地域活性化企業人か委託か）
建チ	●子育て世代向け公園をつくります	【新規】小学校敷地内建設（企ふる物納を活用）

（３）「子育てするならこの町」と言われる町へ!

ま	●高校生の就学支援金の支援の継続	【継続】アンケートの公表と活用を前提に継続
まつ	●帰ってきてけローンの継続・相談機能	【新規】相談機能の本格稼働（つなぐ移管・移住コーディ新設）
	○あいべホールトイレ洋式化、ランニング	【新規】

５　移住定住の推進、つなぐ取組、その他

つ	○集落支援員・協力隊の活用	【新規】買い物弱者対策（健）、小山対策
つ	○ふるさと住民登録制度等への対応	【新規】コーディネター：ふる住１、二拠点１、移住１
財	○業務執行管理可能な財務システム導入	【新規】システムの優位性検証・デジタル事業債（奈良三宅町）
総	○テレビ共聴アンテナの耐用年数経過対策	【新規】GF適用調査➡R10以降、GF導入に向けた補助要綱企画
建つ	○２５年マイホーム（旧東部保育園）	【新規】旧東部保育園の造成工事（３区画）と募集設計

稼ぐ観光を支える拠点・食・工芸品推進と関係人口活用の事業拡大事業
～ 観光を点から面につなぎ、事業と人をつなげ、地域で価値をつける～

2026年11月４日
山形県西川町

◎ 強み：❶2025年「**世界に行くべき25選」に「山形」、世界観光機構ベストツーリズムビレッジにわが町を選定。**
国立公園の月山・朝日連峰や出羽三山信仰、山菜・きのこ・和紙・つるかご等の工芸品の価値は向上。
❷協力隊インターン（3年・延3,500人）で移住12名とファンが多く、町の産業育成・継続の苗床が整う。
▲ 課題：❶観光事業者の後継者不足、山菜・工人の高齢者。観光スポットを面でつなぐ取組が必要。

目的	１．観光体験を点から面へ	２．食・工芸継承の人材マッチング 地域商社による分業化実践	３．価値を伝承する人材育成・広報
事業	❶面から点へつなぐ観光戦略策定 ❷入口・ビジターセンター整備 ❸ワカサギ釣りの環境整備 ❹出羽三山の六十里街道整備 ❹BTV等多言語のデジタル案内 ❺月山駐車場整備・自動化対応 等	❶地場産業育成・継承プラン策定 ❷協力隊インターン・ふる住民等と 後継事業とのマッチング・伴走支援 ❸地域商社の食・工芸の分業化実践 ・山菜・きのこの実践栽培 ・工芸品材料の調達・栽培 等	❶モニターツアー実践と首都圏への広報 ❷出羽三山信仰ガイド ❸企業向けネイチャーポジティブ人材 ❸工芸品制作の担い手 ❹山菜調理の伝承の担い手





運営　「地域未来推進協議会」（町、商工会、工芸品・観光団体、地域商社、モンベル、山形銀行等）

KPI R6➡R9

❶	西川月山ビジターセンター利用者：	０人➡	(R11)	３０万人
❷	観光体験アクティビティ提供拠点：	１０か所➡	(R11)	２０か所
❸	西川町への観光客数：	５９万人➡	(R11)	１００万人
❹	対象事業の新規雇用　アウトカム：	０人➡	(R11)	５０名

事業費　**総額　１４．５億円**（R9：２．５億円、R10：８．５億円、R11：３．５億円　）

政策間連携　●地方創生交付金（カヌーセンター等の4拠点）　●観光庁再生高付加価値化事業
●農山漁村振興交付金（計画策定支援事業）